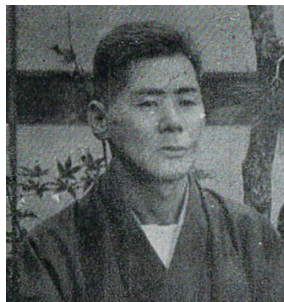


歴史の須那  
再発見!

# 那須町と 近代の人々

vol.16



小山田虎(1861-1931)

4月号は、那須町伊王野の教育者・政治家・司法書士・郷土史家・歌人である小山田虎を紹介しつづけます。

虎は、文久元年に伊王野下町の小山田倉治(亀屋)の次男として生まれました。幼名は幸太郎で後に名を虎と改めています。雅号は秋水といえます。また、孫には渡辺龍瑞(専称寺住職・考古学者)、大野三光(教育者・音楽家)、甥に小山田正敬(俳人・大梅居春翠)がいます。虎は、伊王野維新館(現東陽小)を卒業後、吉成泰三(芦野の学者・教育者)に漢学を、鶴久子(歌人)に国学を学びました。その後虎は、明治初年から昭和初期にかけて、私塾「小山田塾」を開き、

青少年のために、漢学・国語・書道を教えました。教え子には、渋井鉄華(日本画家)、稲沢竹松(伊王野村長・教育者)らがいました。郷土史家としては、明治36年に「伊王野郷土史」を刊行します。この本は、伊王野で初めて書かれた郷土史で、昔の記録や古老からの聞き取りを記しており、伊王野の政治・寺社の由緒を知るうえで貴重な本です。郷土史が完成した際には、伊王野城跡で、伊王野氏の追悼法要と郷土史完成報告会をしたといわれています。ほかに「鮎瀬梅村伝」(藤懸静也と共著)など郷土の歴史に関する著書を執筆しています。

歌人としては、椎木吟社同人として活躍、詠んだ和歌は数千種といひ「関の土産」などの歌集を編さんしました。また、高崎正風(官僚・歌人)、大原重朝(公家・官僚)、渡辺千秋(政治家)らとも交流しています。虎は精力的に和歌を詠んでおり、久能山東照宮や宇都宮二荒山神

社等の献詠会にも私歌を出しました。

虎は昭和6年、71歳で亡くなります。その後、昭和13年に門人らにより専称寺境内に頌徳碑兼歌碑が建てられました。碑には虎が詠んだ「人もかく あらまほしけれ 惜まれて ちるをほまれの 山さくら花」が刻まれ今も同地に残されています。(写真は専称寺境内に建つ歌碑)



春は清々しい光が降り注ぎ、草木の新芽が芽吹く生命の息吹を感じる季節です。新生活や新しいことへの挑戦に意欲を燃やす人も多いのではないのでしょうか▼一方、季節の変わり目は不安や緊張を感じ、大人でも体調を崩しやすい時期です。子どもたちにとつても、入学や進級によるクラス替えなど生活環境が大きく変化し、心身の

こんにちは **赤ちゃん**

令和4年4月生まれ

こやまだ さくと **小山田 桜和くん**

さくとくんは…  
いつもにこにこして、周りを笑顔にしてくれる我が家の三男です。

「こんにちは赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。詳しくは総務課広報広聴係(☎72-6901)まで。

### 町の世帯と人口

(3月1日現在・住民基本台帳) ( )の数字は前月比

・世帯数	10,626世帯 (+ 2)	出生	4人 (- 1)
・人口	24,191人 (-34)	死亡	38人 (-18)
男	12,042人 (-21)	転入	75人 (+16)
女	12,149人 (-13)	転出	73人 (+ 9)
		その他	2人減

広報那須がスマートフォンなどで読むことができます

栃木県のすべてがそろう「電子書籍」ポータルサイト

**TOCHIGI BOOKS**  
トチギーブックス

マチイロ

バランスを乱しやすい季節でもあります▼町では、平成8年に教育相談室を開設し、子どもたちや保護者などから悩みや心配事の相談を受け付けています。学校に行きたくないな。育て方に自信がないなどの悩みに専門相談員が相談を受け、状況に合わせた支援をしています▼今月、町教育相談室「こもれび」が田中複合施設「りぼーる・たなか」に移転しました。ここでは子どもの遊び場や高齢者が集う場、新規起業者が賃貸できる事務所があり、幅広い年齢の人々と交流することができます。また、校庭や体育館、音楽室などの学校施設を生かした活動もできるようになりました▼相談員は子どもたち一人一人に寄り添い、自立に向けて支援します。気軽に相談、通室しやすい「居場所」となるよう「こもれび」が春の光のように優しく子どもたちを包み込み、穏やかな心地よい場であることを望んでいます。(関連記事3項、令和4年9月号10項、10月号10項)